

# げいび清流米ご活用の皆様へ

**新型コロナウイルス禍によるご不便やご不安をされている皆様へ心よりお見舞い申し上げます。**

4月7日に「緊急事態宣言」が発令され、ご不安を抱かれながら生活を送られている7都府県並びに感染者が急増されている地域の皆様には、本当にご苦労をお察し致します。幸いと言っては恐縮ですが、今日現在ここ岩手では感染者が確認されていません。北海道に次ぐ本州一の人口密度の低さやインバウンドとも無縁、そもそも検査数の少なさが故なのか、理由はハッキリしません。最近のネットニュースの記事によれば、米国の公衆衛生学で著明なジョンズ・ホプキンス大学を出られた知事さんが、県外来県者の2週間自宅待機を早期に要請したからだとも言っています。何れにしろ、感染者0が注目されるにつれ、コロナ避難で帰省する学生や他県ナンバーの車に対する眼も厳しくなりつつあります。



澄み切った青空に桜色が映えます。

## 種まき開始

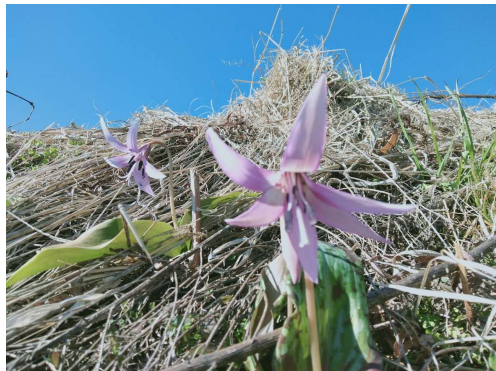
記録的な暖冬に季節感が惑わされながらも、本格的な農作業の到来です。4月に入って田植えに向けた農作業も慌ただしくなってきました。毎週末は兼業農家さんのお休みを当て込んで用水路の泥上げ作業、平日は田んぼの畦（あぜ）塗り、肥料散布、春耕起と続いています。昨日は昨年より5日遅れで種まきを行いました。中でも苗作りは最も緊張する作業の一つです。近所の農家数軒も集まっての共同作業です。一度に苗箱2,200枚を播種します。この作業を3日置きに二度繰り返し、約4,100枚蒔きます。蒔いたものは加温機に3日間入れて芽出しを行います。その後ビニールハウスに並べて苗を育てます。散水や温度管理等、本当に気の抜けない日々が田植えが始まる5月中旬頃まで一月続きます。特にビニールハウスは急な日差しによって高温になったりすると、苗が焼けてしまう恐れがあるので気が抜けません。農業は比較的「三密」と無縁な職種ですが、一日も早く禍が終息し、日常が取り戻される事を願っています。また、世界的な食料不安も囁かれ始めた今、皆様の主食必ずや守り抜く決意です。



種まき作業

**5月の発送日は15日です。**  
**(毎月第三金曜日)** 発送日からの到着の目安

翌日配達・東北・関東・信越／  
翌々日配達・中部・北陸・関西・四国・北海道・九州



**カタクリ** 冬枯れた田んぼの畦にカタクリの可憐な花が日差しを浴びて薄紫色に輝いています。山間の田んぼの見慣れた光景ですが、農作業で疲れた気分を優しく癒してくれます。

## 直売所

旬の逸品でご好評頂きました品々です。まだ多少在庫ございますのでご希望の場合はご用命下さい。

**えごま油2,284円/150g (税込) ※通常2,484円**

**たかきび粒350円/200g (税込)**

**ご注文方法：** 郵便振替用紙通信欄に数量、お届け日を明記の上ご注文下さい。下記フリーダイヤル、FAX、Eメールでもお受け致します。※尚、お米と一緒にお届けにしますと片隅に入れられる分は送料が掛かりませんのでご利用下さい。



## お問い合わせ先

〒029-0301 岩手県一関市東山町田河津字田の萱 58

フリーダイヤル 0120-81-4153

FAX 0191-47-2769

Eメール okome@81-4153.com

<http://www.facebook.com/soji.sato>

合同会社 田舎モノ 代表社員 佐藤 想司

※日中は農作業のため留守電が対応します。ご用件をお話頂き、不明な場合はこちらよりご連絡いたします。